

2018年12月2日（日）メッセージアウトライン 「モーセは一日にして成らず」

聖書箇所：出エジプト記3：1～12

タイトル：「モーセは一日にして成らず」

テーマ：モーセは、ミデヤンの荒野で不思議な光景を見て、好奇心から近づいてみます。そこで、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神とご自身を啓示される神とお会いすることになります。この出会いが、これ以降のモーセの生涯を決めていきます。あなたもイエス・キリストにお会いする前、どのようなキッカケで教会に来たか、聖書に出会ったかを思い起こしてみてください。

その出会いがモーセの人生を造り上げ、彼を神の人へと変えていきました。イエス・キリストとの出会いがどのように私たちが造りかえてくださったか。モーセという信仰者を整えて用いられた神は、私たちをも造り変えて用いようとされます。「モーセは一日にして成らず」です。その視点で今日の聖書箇所を考えてみます。

1. はじめに 文脈の確認

①エジプトに移住後、イスラエルの民が経験した苦難

- *ヨセフのことを知らない王がエジプトに登場してから、イスラエルの民への扱いは激変する→エジプトの奴隷に。苦役を課され困難な日々。
- *そんな中でもイスラエル人の数は増えるばかり。そこでエジプト王は、ヘブル人に生まれた子が男児ならみんな殺せという命令を下した。
- *そんな中、レビ人の家庭にモーセが生まれた

②モーセの人生

- *ゼロ歳から40歳まで
- *40歳から80歳まで
- *80歳から120歳まで

2. モーセ、イスラエルの父祖の神と出会う

- ①モーセの好奇心
- ②神の自己紹介
- ③イスラエルの民への神の憐れみと、モーセへの召し

3. 抵抗するモーセ

4. 神のご計画

5. 結論

- ①神がモーセに持つておられたご計画と私たちに持つておられるご計画
- ②モーセもクリスチャンも一日にして成らず